

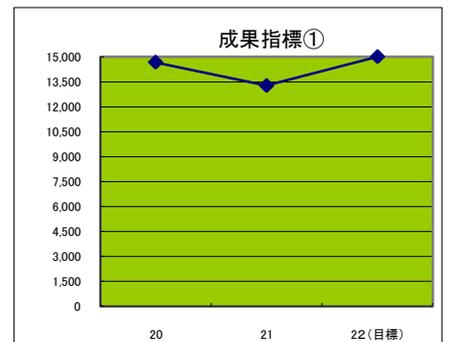
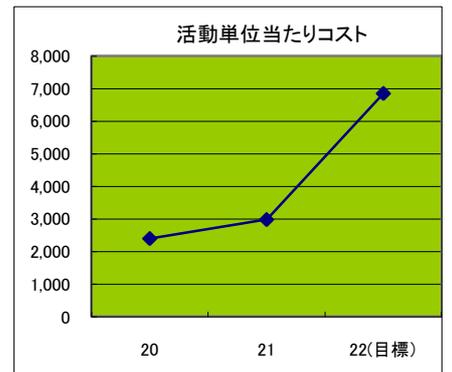
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

保高13

事務事業名		介護予防事業		予算科目	会計	8	介護保険特別会計	
総合基本計画		2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	7	地域支援事業費	
まちづくりの目標(章)	2				健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	項	1	介護予防事業費
施策(節)	3				高齢者福祉	目	2	介護予防一般高齢者施策事業費
施策の方向	(2)	高齢者の健康づくりの促進		事業	1	介護予防普及啓発事業		
関連する計画等	第4期高齢者いきいき計画			作成部署	保健福祉部高年介護課 (地域包括支援室)			
事業の目的	対象(誰を・何を) 65歳以上の第1号被保険者 意図(どういう状態にしたいのか) 要支援または要介護状態にならぬように予防する。			連絡先	072-958-1111	内線 1380		
事業の内容	65歳以上の第1号被保険者に対して、医療機関を通じて生活機能の低下をスクリーニングし、必要に応じて、介護予防プランに基づき運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等の通所型やうつ予防、認知症予防、閉じこもり予防等の訪問型の事業に参加していただく特定高齢者施策と、高齢者全体を対象に介護予防の啓発や各種教室に参加していただく一般高齢者施策を実施している。							
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱、地域支援事業等実施規則、介護予防事業の手引き							
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 18年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成		<input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成	年度	
事業開始時からの状況変化	平成22年度から対象者をスクリーニングする健診を本格的に再開し、特定高齢者施策も実施することになった。							
市民や議会の要望								
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()							
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他			委託内容	介護予防に関する実技指導やアセスメント等			

区分		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)
事業費【1】	(千円)	28,481	32,807	96,054
人件費【2】	(千円)	6,750	6,750	6,750
職員数	正規職員	0.90 人	0.90 人	0.90 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	35,231	39,557	102,804
財源内訳	国費	(千円) 7,120	8,203	24,015
	府費	(千円) 3,560	4,100	12,006
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円) 14,241	16,404	48,027
一般財源	(千円)	10,310	10,850	18,756
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	20年度	21年度	22年度(目標)
① 事業参加者延べ人数	人	14,667	13,255	15,000
② 事業実施延べ回数	回	1,455	1,380	1,500
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		2,402 円	2,984 円	6,854 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		294 円	333 円	865 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	①	一般高齢者施策参加者数(式)	人	要支援または要介護への移行を防ぐための取り組みに参加した人の数	15,000	13,255
				14,667	13,255	88.4%
②	(式)					達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○	○		○		○	○	○	○	○	有	要介護状態等により近い高齢者に対し事業を実施することにより、要介護状態等への移行を予防する。

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護予防事業は、事業参加を通じて、65歳以上の高齢者が要介護状態等になることを予防することを予防し、また一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することに役だっている。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20年度より、生きがいサロンを介護予防事業の拠点とし、事業を実施している。そのため事業参加者が増加し、より地域に密着した事業が展開できている。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運動器の機能向上や認知症予防など、様々な事業を展開し、高齢者の介護予防に効果を発揮している。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護予防普及啓発事業については、地域のボランティア等を中心に実施している事業がある。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特定高齢者の把握と特定高齢者事業が十分実施できなかった。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	介護予防の効果としては、市が実施する介護予防事業に参加した高齢者のほうが、何も事業に参加しなかった高齢者より、要支援または要介護認を受ける率が低く、要支援または要介護状態への移行を抑えることができた。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	今後は、特定高齢者施策をさらに充実させて、要支援・要介護状態への移行を予防する。

行本部評価	総合評価	評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	